

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表
おれんじ坂口

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	○			課題ルーム、フリールームともに十 分なスペースがある。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			配置基準より手厚い人員配置が出 来ている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	○			多目的トイレ、フリールームは段差 なし。表玄関はスロープ有
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	○			月例会議で、個別支援計画の振り返 り、変更等を検討。支援前にも確認 を行っている。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげているか	○			保護者アンケートの結果より、地域 や保護種の交流についてのご意見 がありましたので、感染症に配慮し ながらご要望に応じていきたい。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	○			当法人のホームページで公表して いる。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか			○	検討中。現時点では第三者評価を実 施していないことを重要事項説明 書に記載している。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○			月1回、法人内研修している。虐待 防止研修や事業所内研修、関係機関 などで実施される外部研修に参加 している。
適切な 支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者様からの聞き取りを十分に 行い適切に計画作成できている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標 準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			当法人内における標準化がされて いるアセスメントシートを使用。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			月例の会議、日々の終礼など、職員 からの提案も取り入れながら検討 している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○			利用する子どもたちの特性、得意苦 手を捉えながら多くのことを体験、 経験できるような活動の提供を心 掛けている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○			子どもたちの特性、興味などを理解 し、それぞれに合った課題の提供が できている。

適切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			絵本の読み聞かせや帰りの会、図書館利用、音楽や外出活動、またご本人の好きな活動を組み合わせて計画している。
	⑮	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		常勤職員間での事前確認はおおむねできている。その他の非常勤職員については前日、または支援開始直前、直後の確認となることもある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○			送迎終了後に終礼を行っている。全員が集まれない場合には、連絡用引継ぎ用紙に記入してもらい、職員間での情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			出来ている。また、問題のある場合は早急な対応に勤めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的なモニタリングと半年に一度、保護者様との面談を実施。利用者さんの成長、状態など、必要に応じて計画の見直しなど行っている。
	⑲	ガイドライン総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	○			利用者様の特性、状況に合わせ、教材の提供、創作活動、調理、社会見学、地域の施設の活用などを実施している。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			事前に他の職員への聞き取り、ご本人の状況確認をし、児童発達支援管理責任者が出席。終了後、職員への報告をしている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校からの情報をメール、お便りで確認している。引き渡し時の注意事項についても、事業所の職員と共有している。また、保護者様より情報提供いただくこともある。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、該当する利用者さんはいないが、受け入れる場合は体制を整えてから受け入れをする。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		就学前の情報については、保護者様、相談支援事業所から情報を得ている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		移行時の情報提供ができています。また、情報提供を求められた際に対応できるよう準備をしている。

関係機関や保護者との連携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		研修への参加をしている。中、西部地区発達障害者支援センターが開設されているので、必要に応じて相談連携を図っていきたい。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか		○		牧之原市図書館や児童館などの利用をしている。障がいのない子どもと活動しているというより、同じ空間を一緒に過ごすことに重点を置いて活動した。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			牧之原市自立支援ネットワークに参加している。
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時に、その日の出来事、様子を伝えている。緊急の場合や個別で連絡を取る必要があるときは、電話やメール等でお伝えしている。
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者様からの相談にのり、アドバイスをを行う、一緒に考えるなどの支援を行う。また、サービス提供時に発見した良い対応方法や、成長が見られたことなどをお伝えし保護者様と共有するよう努めている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			保護者様には契約時に十分な時間を設けていただき、説明をさせていただいている。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			保護者様から寄せられる相談へは出来る限り応じ、助言、支援を行っている。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			11月に地域交流会を開催している。講師を呼んで保護者対象の研修会などで支援を行っている。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			苦情解決のための受付、相談窓口、第三者委員についてのチラシを事業所の目につく位置に掲示。そのことを契約時に保護者さんへお伝えしている。また、苦情について、事業所内の努力等で解決できるものについては早急に対応している。
	③4	定期的に会報を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			当法人の発行する、うえるび一通信(月1回発行)にて当事業所のお知らせ、予定などを発信している。事業所のお知らせで緊急の場合はSNS(LINE)による発信をすることもある。

保護者への説明責任	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			細心の注意をはらい、扱っている。また、職員へは雇用時に誓約書も提出してもらい、順守してもらっている。法人内研修でもコンプライアンス研修を実施。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的にも解りやすい方法を取り入れるなどしている。電話のみでなく、お便りや SNS (LINE) なども活用している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	○			11 月に地域交流会を実施しているが地域の人にもっと知ってもらえるよう宣伝していく必要がある。
非常時の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		マニュアルについては、必要に応じて書き換え、その内容は月例会議等で職員へ周知している。保護者さんへは具体的な内容までは周知できていないが、契約時にマニュアルがあることについてはお伝えしている。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年 2 回の避難訓練を実施している。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			法人内研修にて年に一度は行っている。その他、外部で開催される研修へも多くの職員が参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束が必要な場合には職員で話し合い決定。保護者様に説明、承諾を得てサービス計画に記載を行うことになっている。身体拘束の原則について研修などを通じ職員への理解を図っている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		保護者様にリスク対応表への記入により対応をしている。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			職責に関わらず、ヒヤリハットに直面した職員による報告書の作成、事業所内での回覧の実施をしている。